

令和6年度機雷戦訓練(日向灘)及び
掃海特別訓練(日米共同訓練)
訓練計画の概要

令和6年11月

防 衛 省

令和6年度機雷戦訓練(日向灘)及び掃海特別訓練(日米共同訓練)

1 目的

- (1)海上自衛隊の機雷戦能力向上
- (2)米海軍との更なる連携強化

2 訓練期間

令和6年11月12日(火)～27日(水)(海面補償期間:11月16日(土)～11月26日(火))

3 参加予定兵力

(1)海 自

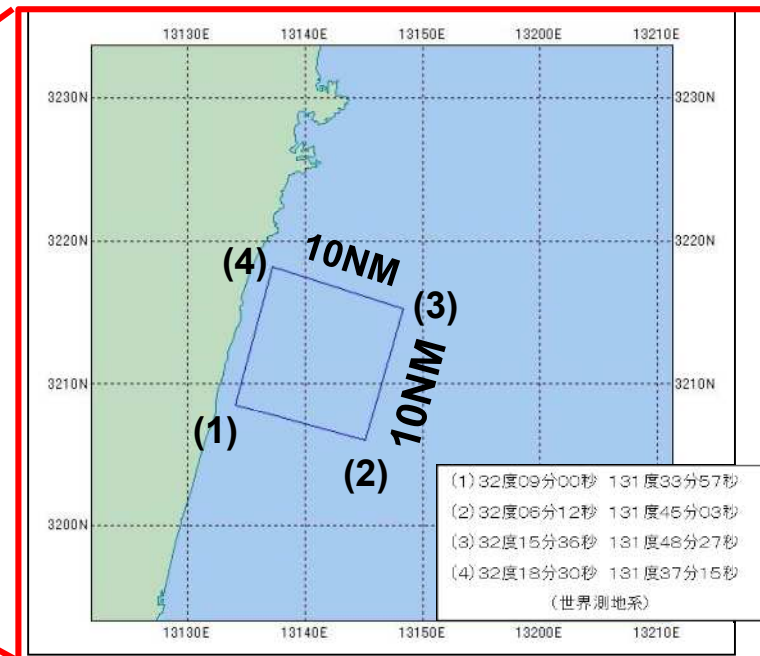
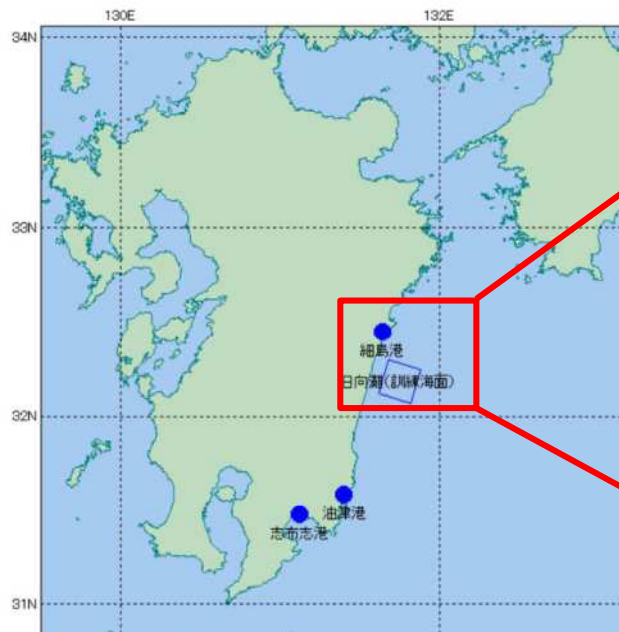
掃海母艦×2隻、護衛艦×1隻、掃海艦艇×約16隻程度、潜水員約80名程度、掃海ヘリコプター×2機程度

(2)米海軍

掃海艦×2隻程度、潜水員約20名程度

4 訓練場所等

日向灘(都農町・川南町沖区域)、志布志港(停泊訓練のみ)、油津港(停泊訓練のみ)及び細島港(補給のみ)

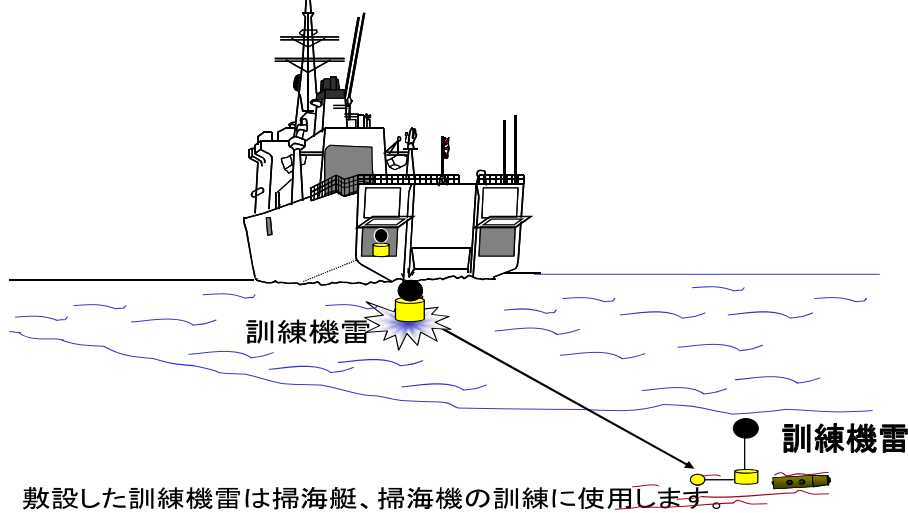


訓練日程の概要

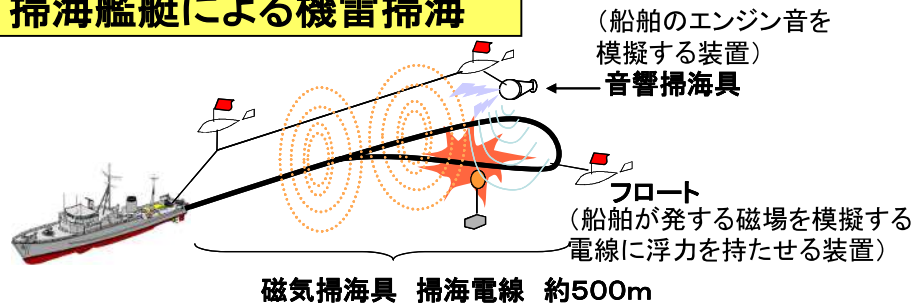
日程		11月																	
		12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	
		※11月25日(月)及び26日(火):訓練予備日																	
		海面補償期間																	
出入港	海自	○志布志入港 一部志布志出港 ／油津入港○ 志布志／油津出港○																○細島入港 細島出港○	
	米軍	○志布志入港 志布志出港○																○細島入港 ○細島出港	
海上自衛隊	掃海母艦	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 停泊訓練、安全管理関連指導 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 事前研究会、訓練準備、 </div> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 事後研究会 </div> </div>																	
	護衛艦																		
	掃海艦艇																		
	潜水員																		
	ヘリコプター																		
米海軍	潜水員																		
	艦艇																		

※停泊訓練：日米相互の隊員がお互いの艦船を訪問し、艦内で停泊訓練(防火・防水訓練:浸水や火災が発生した際の対処訓練)を行います。
艦内のみで実施し、岸壁での訓練(消火ホースを広げたり、器材を置くこと)はありません。
※部隊の行動予定(米海軍を含む。)については調整中であり、変更となる可能性があります。

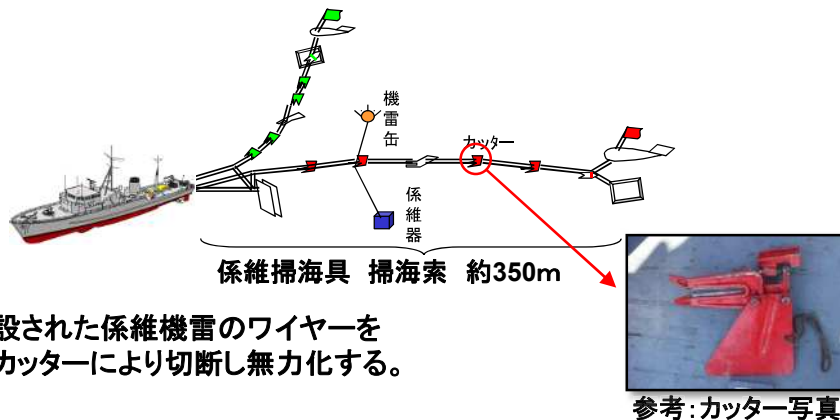
1 訓練機雷敷設



3 掃海艦艇による機雷掃海



海中に機雷に船舶に類似した信号
(磁気・音響)により機雷を無力化する。



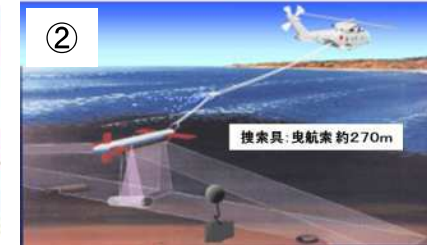
2 掃海艦艇による機雷掃討

掃海艇の探知機で探知
した機雷を自走式の機雷処分
用弾薬で識別し無力化



機雷処分用弾薬
(訓練用であり爆発は
伴わない。)

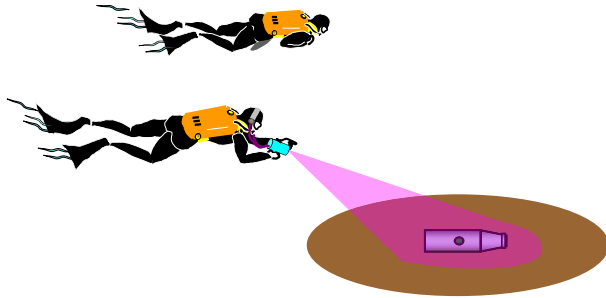
4 航空機による機雷掃海



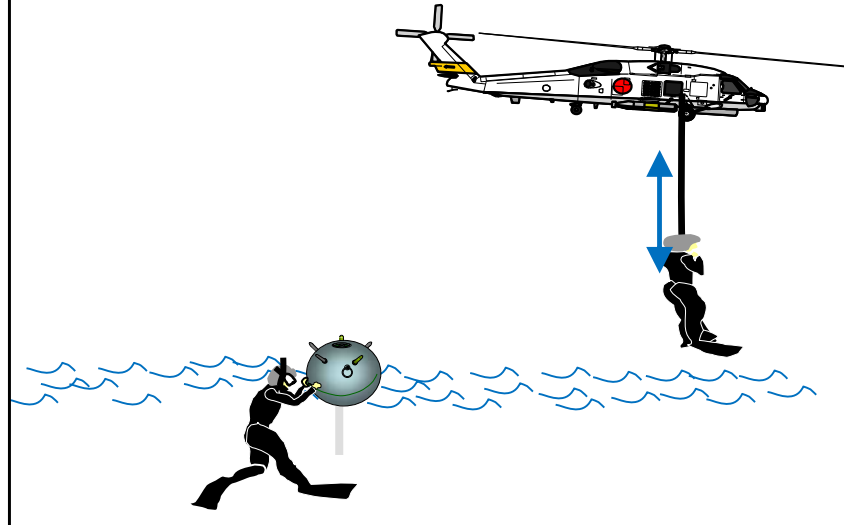
- ①海上、海中の機雷を航空機からのレーザー搜索装置により搜索する。
- ②海中の機雷を航空機からえい航するソーナーにより搜索する。
- ③海中の機雷を航空機からえい航する音響装置(船舶のエンジンを模擬する)により無力化する。

5 潜水員による機雷掃討

潜水員による機雷搜索・処分



ヘロ・キャストイング(H/C)による機雷処分



※1 ヘロ・キャストイング(H/C):ヘリコプターからロープを使って潜水員が降下、その後訓練機雷の場所まで泳いで移動、訓練機雷に爆薬を装着(想定)し、再度ロープを使用してヘリコプターへ戻る訓練です。

※2 本訓練では、火工品は使用しますが、爆薬は使用しません。

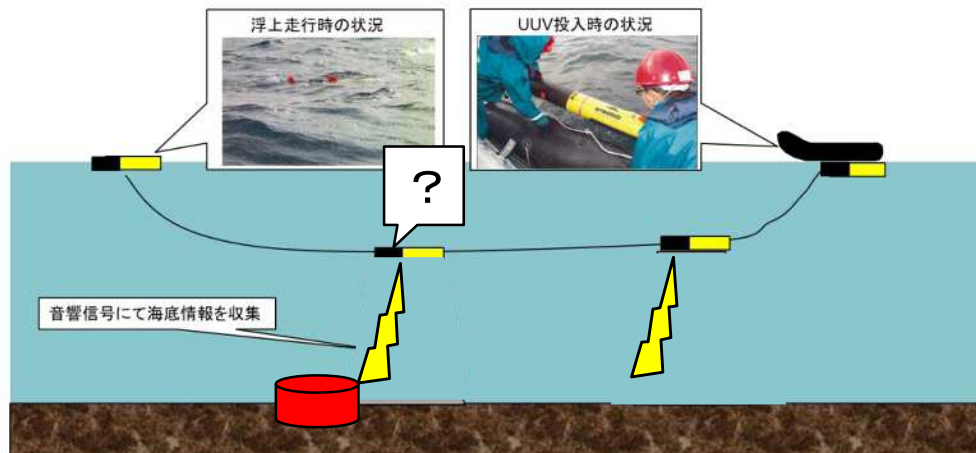
6 UUV搜索訓練

1 規格

長さ:2.4m、重量:60kg、速力:2~4kt(ノット)

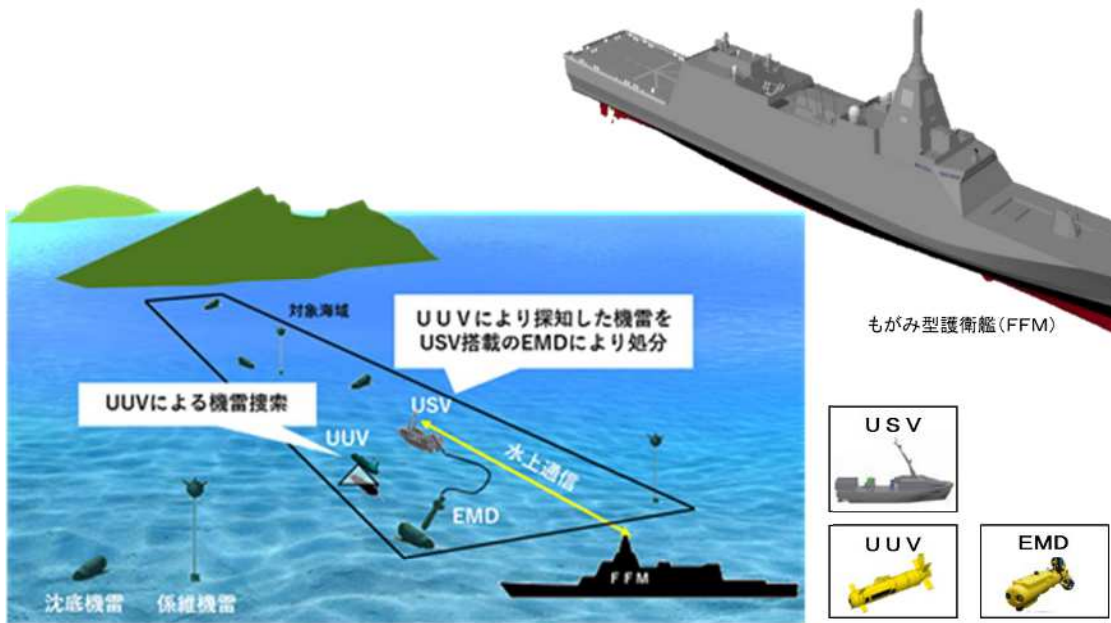


2 UUVの使用イメージ



※3 ゴムボートからUUVを降ろし、事前に指定したコースを走らせて海底にある物体の有無について搜索した後、浮上してきたUUVをゴムボートで回収、回収後、UUVが収集したデータを解析する訓練を実施します。

7 護衛艦(FFM)による運用試験(水中無人機(UUV)等)



※ イメージのように、護衛艦(FFM)から水中無人機(UUV)及び水上無人機(USV)を展開し、護衛艦(FFM)からの遠隔操作による機雷搜索(水中無人機(UUV)、水上無人機(USV)使用)及び機雷の処分(自走式機雷処分用爆薬(EMD)(訓練用))を使用を訓練します。

※ **USV**: Unmanned Surface Vehicle
UUV: Unmanned Underwater Vehicle
EMD: Expendable Mine Disposal (訓練用)